

5月13日は台場小学校開校記念日です



明後日5月13日（水）は、台場小学校の69回目の開校記念日です。昭和32年（1957年）4月に開校して以来、69年になりました。今朝の全校朝会では、13日の開校記念にちなみ、「たくましく」と「品川灯台」の話をしました。

歴史を紐解くと、同年4月1日に「台場小学校」としてスタートしているのですが、まだ校舎が完成しておらず、品川小学校と城南第二小学校それぞれでスタートしたようです。両校からの児童数は、いずれも3年生以下で、あわせて710名での始まりだったようです（いかに当時の子どもの数が多かったことか）。5月7日に、一部校舎が完成したため、引っ越しをしてきました。5月13日は落成開校式を実施した日にあたり、当日を記念日として定めたと記されています。

台場小学校に来た時に、まず目を引くのは、門の脇にある灯台です。私も初めて目にした時には「え？何で灯台が？」と思ったことを覚えています。その後敷地内に入って目に留まるのはクリーム色のオブジェ（？）のような「たくましく」です。この二つは間違いなく目を引きます。

灯台は、あらためて言うまでもないかもしれませんが、明治3年に日本で3番目に設置された洋式灯台（品川灯台）のレプリカです。東京湾内の第二台場に設置されたそうです。実物は、現在も愛知県の明治村にあります。灯台の台になっている石は、幕末に急ぎ作られた御殿山下台場（現在の台場小がある所）の石垣で、それと灯台がセットになって設置されたということです。いつ作られたかの記録は見当たりませんが、開校のころからあったようです。

一方、「たくましく」は、第1回卒業生の卒業記念として当時の先生のデザインで作られたものだそうです。その後、校舎改築に伴い取り壊されましたが、50周年を記念して、当時の関係のみなさんの思いで新たに作られたものです。初代の「たくましく」より、今のものは、やや丸みを帯びていますが、ほぼ同じデザインで再現されています。

どちらも、今の子どもたちにとっても、大切な学校のシンボルとなっています。子どもの視線で、シンボルがある学校って「いいな」と思います。